

東アジア古代鉄文化研究センター設立10周年記念

古代ユーラシア アイアンロードの探究

日時：平成28年12月3日（土）13:00~16:40

場所：愛媛大学城北キャンパス 南加記念ホール

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センターは、おかげさまで設立10周年を迎えました。この間、中国四川省（成都博物院・四川大学）との共同研究に始まり、中国河南省、モンゴル、ロシアハカス共和国、カザフスタンの研究機関と協定を締結して、古代の製鉄遺跡に関する共同調査・研究を進めてきました。東アジアだけでなく、広くユーラシアで製鉄の伝播に関わる重要な遺跡を発見し、新たな研究を展開しつつあります。またわが国をはじめとした古代製鉄技術の復元についても一定の成果をあげてきました。このたび設立後の10年の活動とその成果をふり返し、今後のユーラシアにおける古代鉄研究について展望すべく、議論を深めていきたいと思っております。



古石山遺跡（中国四川省）



ホスティン・ボラグ遺跡（モンゴル）



トルチェア遺跡（ハカス共和国）



製鉄実験（岡山県新見市）

プログラム

- 趣旨説明 東アジア古代鉄文化研究センター設立10周年の回顧
村上恭通（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター センター長・教授）
- 成果報告 四川における研究成果と中国の製鉄研究
榎林啓介（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 准教授）
- 成果報告 モンゴルにおける共同研究の成果と今後の展望
笹田朋孝（愛媛大学法文学部 准教授）
- 討 論 ユーラシア古代鉄研究の展望
岡村秀典（京都大学人文科学研究所 教授）
白石典之（新潟大学人文社会・教育科学系 教授）
臼杵 勲（札幌学院大学人文学部 教授）
村上恭通
- 対 談 たたら吹き製鉄の技術復元—とくに銚（ずく）押法について—
木原明（(公財)日本美術刀剣保存協会 村下
（選定保存技術「玉鋼製造」保持者）
村上恭通

申し込み不要・入場無料

主催：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番 HP: <http://www.ccr.ehime-u.ac.jp/aic/>

Tel/Fax: 089-927-8391 Email: kotetsuAIC@gmail.com

科研費（基盤A25257011）